

桜の園芸品種「大磯小桜」を見に行こう！

問都市計画課 ☎内線243・248

令和2年2月1日に「日本花の会」から「桜の園芸品種」に認定された「大磯小桜」が見頃の季節となりました。

大磯小桜ってどんな桜？

大磯小桜は、齊藤廣昭さんを中心とした「大磯小桜会」の活動により、町内で大切に育てられてきた桜です。品種名に「小」とありますが、立派な樹木から「小さく可憐な花」が咲く控えめな桜であることが特徴です。

開花の時期は、3月中旬から下旬とされており、4月を迎えた今の時期が見頃であるとされています。

大磯小桜はどこで見られるの？

大磯小桜は、大磯運動公園南側斜面地に多く植樹されています。大磯運動公園における大磯小桜は、平成16年に最初の苗木が植樹され、現在は44本が植樹されています。

現在は、町内の多くの場所で立派な大磯小桜が見られるように、苗木の育成や植樹の活動を中心に「大磯小桜会」が日々、尽力されています。

馬場公園と白岩神社に大磯小桜を植樹しました！

馬場公園と白岩神社において、今年2月に大磯小桜の苗木を植樹しました。桜は、成長してきれいに咲くまでに10年ほどの年月を要するとされています。近い将来、多くの方に愛される桜が咲くよう、想いを込めて植樹をしました。

馬場公園



白岩神社

**2025年湘南ベルマーレホームタウン表敬訪問**

問スポーツ健康課 ☎内線324

湘南ベルマーレ大多和亮介取締役副社長とクラブスタッフが2025シーズン開幕に向けて表敬訪問されました。J1でさらなる高みを目指す湘南ベルマーレをみんなで応援しましょう！

**大磯高校・麻布大学と「人と動物と環境との共生」に向けた協定を締結しました**

問産業観光課・環境課 ☎内線262・352

町は、大磯高校・麻布大学と「人と動物と環境との共生」に向けた協定を締結しました。

この協定は、高校、大学、地域社会の緊密な連携・協力に基づいた教育と実践の促進を目的に、全国的にも先進的な「高大接続・社会連携」を掲げた取組みを実現するためのものです。

この連携・協力により、高校の生徒や大学の学生が中心となって、大磯の豊かな自然環境をフィールドに高校の教育と地域活動に大学の専門性を取り入れ、また、大学の教育や研究を地域の課題に向き合う形で展開することで、町の鳥獣被害対策や環境保全、一次産業の振興等の課題解決につなげていくことを目指していきます。

「おいそ暮らしのガイド2025-2026」を発行

問政策課 ☎内線206

「おいそ暮らしのガイド」を4月中を目途に各世帯へポストイング配布します。

この冊子は保健・福祉・子育て支援・ゴミの出し方などの行政情報をわかりやすくまとめた情報ガイドブックで、町と民間企業（株式会社サイネックス）との協働事業で作成したものです。

108ページと情報満載となっておりますので、お手元に置いてご活用ください。

